

平成 29 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 30 年 3 月

西部家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	4頁
8	収入事務処理状況調べ	4頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7頁
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	7頁
11	不納欠損額調べ	7頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	10頁
14	財産に関する調べ	10頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	13頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	15頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	15頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	寄附物件の受納状況調べ	17頁
19	備品の処分状況調べ	17頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	17頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
21	事業別予算執行状況調べ	17頁
22	家畜保健衛生事業	18頁
	(1) 管内家畜類の飼養状況調べ	
	(2) 各事業別の実施状況調べ	
○	意見、要望等	20頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当無し

(2) 監査意見
該当無し

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当無し

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
西部家畜保健衛生所	衛生指導担当	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜保健衛生所法（昭和25年法律第12号）第3条の規定による家畜の伝染病の予防、家畜の試験、検査等に関すること。 ・獣医事に関すること。 ・動物薬事に関すること。
	防疫担当	

4 職員の定員、現員調べ

（平成30年3月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	29.4.1 現 在	当 該 年 度	29.4.1 現 在	当 該 年 度	29.4.1 現 在	当 該 年 度	29.4.1 現 在	
定 員	0	0	10	10	0	0	10	10	
現 員	() 0	() 0	() 9	() 9	() 0	() 0	() 9	() 9	
過不足(Δ)	0	0	Δ1	Δ1	0	0	Δ1	Δ1	平成29年度定期人事異動による欠員
臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非 常 勤 職 員	1	1	1	0	0	0	2	1	欠員補充のため技術職員を8月に採用 事務職1 技術職1

5 役付職員の調べ

（平成30年 3月 1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
		年 月	
所 長	山 崎 浩 一	1 1	
次 長 兼 課 長 補 佐	森 本 一 隆	1 1	通算1年11月 出納員
課 長 補 佐	千 代 隆 之	1 1	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
家畜衛生対策事業	3,485	1,743	0	1,742
将来ビジョン				
政策項目	「食のみやこ鳥取県」を支える畜産物のブランド化、安定供給の推進 安心・安全な畜産物の生産に必要な衛生管理体制を整備する			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> ・サルモネラ症などの人獣共通伝染病の浸潤状況調査や動物用医薬品の適正使用の指導、飼料の実態調査・検査等を実施し、安全安心な畜産物の生産を指導するとともに、家畜の疾病の発生、まん延防止を図り、畜産農家の生産性の向上と経営安定を推進する。 				
(イ) 事業の実施状況				
①畜産物の安全性確保対策				
<ul style="list-style-type: none"> ・カビ毒検査：流通飼料製造業者1戸1検体（11月実施） 				
②家畜衛生関連情報整備対策：家畜衛生情報の収集：臨床獣医師との情報交換（毎月実施）				
③動物用医薬品危機管理対策				
<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の検査：2品目（モキシハートタブKS7.5、フロルフェニコール注100「フジタ」） ・動物用医薬品販売業者等への立入検査：61店舗(予定) 				
④地域衛生管理対策				
<ul style="list-style-type: none"> ・牛ウイルス性下痢・粘膜病対策：県外導入牛74頭 ・乳房炎：バルク乳検査延べ104戸（全戸×2回）、多発農場の検査指導 ・幼畜疾病対策：下痢症及び肺炎対策指導（牛5戸、豚5戸） ・牛白血病清浄化対策：繁殖和牛農場3戸をモデル農場として重点調査・指導 				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
畜産現場の現状や要望を勘案し、以下のテーマについて重点的に取り組んだ。				
<ul style="list-style-type: none"> ・乳房炎：バルク乳検査での黄色ブドウ球菌(SA)陽性率のモニタリング。 ・幼獣疾病対策：哺育育成農場に対して定期的に農場巡回し、着地検査とハエ対策及びワクチン接種を指導。 ・中小規模養豚農家への定期的巡回による衛生指導及び繁殖向上に対する指導。 ・牛白血病抗体陽性率低減のため定期的に追跡調査を実施し、分離飼育等の水平感染予防を指導。 				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> ・幼獣疾病対策：衛生的な飼養管理と適切なワクチン接種による免疫付与で子牛の下痢、肺炎が減少し、幼獣の損耗防止を達成。 ・牛白血病清浄化対策：各農場の追跡検査と巡回指導を継続し、分離飼育を行った農場では陽性率を37%（調査開始時60%）にまで低減。若齢牛を含む摘発が続いた農場ではその後の続発を抑えた 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・牛ウイルス性下痢・粘膜病対策：県外での発生は継続しており、今後も県外からの侵入リスクは高い状況。県外導入牛の侵入監視と迅速な検査対応の継続が必要。 ・乳房炎：バルク乳中のSA検出から新たな陽性牛の摘発や清浄化が困難な農場もある。引き続き生産団体等と協力し、早期発見に努め、清浄化を推進していくことが必要。 ・牛白血病清浄化：摘発を抑えるため、実行可能な感染予防対策を継続、定期的に陽性率の推移も確認。県内の和牛生産農場にデータ還元し、感染予防対策の浸透を図っていくことが必要。 				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
家畜伝染病予防事業	1,076	792	0	284
将来ビジョン				
政策項目	「食のみやこ鳥取県」を支える畜産物のブランド化、安定供給の推進 安心・安全な畜産物の生産に必要な衛生管理体制を整備する			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査と発生時のまん延防止措置を行う。				
(イ) 事業の実施状況				
①監視伝染病の摘発状況				
家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条)				
発生なし				
届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条)				
牛白血病 (牛 8頭)				
豚丹毒 (豚 6頭)				
鶏痘 (鶏 4羽)				
②家畜伝染病予防法第5条による告示検査実施状況				
<牛> ○ ブルセラ病 : 726頭				
○ 結核病 : 539頭				
○ ヨーネ病 : 1,776頭 (ELISA法及びPCR法)				
○ 牛ウイルス性下痢・粘膜病 : 404検体				
<鶏> ○ ひな白痢 : 2,500羽				
○ マイコプラズマ病 : 2,500羽				
○ ニューカッスル病 : 2,500羽				
○ 高病原性鳥インフルエンザ : 575羽				
<蜜蜂> ○ 腐蛆病 : 199群				
③高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、管内防疫演習、勉強会(11、12月)を開催した。また、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザが近県で発生した場合の防疫協力体制等について隣接県と継続協議した(岡山県：8月、鳥根県、広島県：8月)。				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・畜産農家に対し、消毒・ワクチン接種等の伝染病予防対策や各疾病の発生状況等を衛生情報として発行した。また飼養衛生管理基準の遵守に関する指導を適宜行った。				
・口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの管内発生時対策について、関係部局や市町村と協議し、初動防疫計画や運営マニュアル改定に取り組んだ。				
・牛白血病の摘発が多く農場内の感染状況の把握を希望する酪農場に対して、5条検査の余剰血清を用いた抗体検査を実施した。抗体陽性率の推移を監視するとともに、感染予防指導を継続した。				
ウ 成果及び効果				
・概ね計画数量どおりの検査を遂行した。				
・定期的な巡回指導を行い、消毒及び衛生管理を随時指導し、重大な家畜伝染病の発生を防いだ。				
・牛白血病対策としては、摘発が多く感染予防対策を継続してきた酪農場で今年度の摘発はなく、陽性率の低減を実現した。				
エ 課題				
・畜産農家に対して飼養衛生管理基準の遵守を継続指導し、今後も家畜伝染病及び届出伝染病の発生予防に努めていく必要がある。				
・口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した危機管理体制について、関係部局や市町村と連携を強め、動員者・物品調達・防疫作業分担等の運営マニュアルを確認し、関係部局との協議を深める必要がある。				
・摘発被害の大きい牛白血病対策として、酪農場における牛白血病ウイルスの浸潤状況を追跡調査し、併せて和牛農場においても来年度から開始する5条検査の余剰血清を用いた浸潤状況を加える等、状況把握に努め、具体的対策に繋げていくことが必要となる。				

7 収入証紙取扱額調べ

(平成30年1月31日現在)

収入科目			件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
目	節	細節				
	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	7	11,000	77,000	許可更新
	計(節)		7			
目計			7		77,000	
合計			7		77,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当無し

(2) 使用料

(平成30年1月31日現在)

(単位:円)

			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
	行政財産使用料		2	15,480	15,480	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	(公社)鳥取県畜産推進機構、中国電力(株)米子営業所
	計(節)		2	15,480	15,480	0	0		
			2	15,480	15,480	0	0		
			2	15,480	15,480	0	0		

(3) 手数料

(平成30年1月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
農 林 水 産 業 手 数 料	畜 産 業 手 数 料	家畜防疫手数料	64件	1,917,800	1,917,800	0	0	家畜伝染病予防法 鳥取県手数料徴収 条例	収納業務委託 (H24年度～大 山乳業農協)
		ブルセラ病	(726頭)	174,240	174,240	0	0		@ 240
		結核病	(539頭)	129,360	129,360	0	0		@ 240
		ヨーネ病(ELISA)	(1,667頭)	1,133,560	1,133,560	0	0		@ 680
		ヨーネ病(PCR)	(26頭)	62,140	62,140	0	0		@2,390
		家きんカビ病感染症 (ひな白痢)	(2,000羽)	86,000	86,000	0	0		@ 43
		マイコプラズマ病	(2,000羽)	86,000	86,000	0	0		@ 43
		腐蛆病	(199群)	11,940	11,940	0	0		@ 60
		牛ウイルス性下痢・粘膜病(ELISA)	(342頭)	232,560	232,560	0	0		@ 680
		馬伝染性貧血証明	(1件)	400	400	0	0		@ 400
		腐蛆病証明	(4件)	1,600	1,600	0	0		@ 400
		家畜保健衛生所手数料	7件	92,460	92,460	0	0	鳥取県家畜保健衛 生所の名称、位置 及び管轄区域等を 定める条例	
		牛ウイルス性下痢・粘膜病(ELISA)	(30頭)	72,600	72,600	0	0		@2,420
		馬伝染性貧血	(3頭)	7,260	7,260	0	0		@2,420
		各種証明(全共)	(24件)	10,080	10,080	0	0		@ 420
牛ウイルス性下痢・粘膜病証明	(3件)	1,260	1,260	0	0		@ 420		
馬伝染性貧血証明	(3件)	1,260	1,260	0	0		@ 420		
合 計		71件	2,010,260	2,010,260	0	0			

(4) 財産収入

(平成30年1月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
財産貸付収入	財産貸付収入		1	957	957	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則	水道供給施設用地 (土地・伯耆町)
目計			1	957	957	0	0		
合計			1	957	957	0	0		

(5) 諸収入

(平成30年1月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入		1	10,542	10,542	0	0	公有財産事 務取扱要領	(公社)鳥取県 畜産推進機構
目計									
合計									

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成30年1月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
家畜防疫手数料	1,446,140	41	検査手数料 1,444,540円 検査証明手数料 1,600円
家畜保健衛生所手数料	82,380	6	検査手数料 80,280円 検査証明手数料 2,100円
合計	1,528,520	47	

イ つり銭の状況
該当無し

9 収入未済額調べ

(平成30年 1月31日現在)

(単位：円)

収入科目 区分			過年度分							現年度分			収入未済額計 A+B	未收理由
			前年度 以前から の繰 越額	左のう ちの収 入済額	不納 欠損 額	収入 未済額 A	収入未済額の 調定年度内訳			調定額	収入済額	収入 未済額 B		
目	節	細節					26年度 以前	27年度	28年度					
農林 水産 業手 数料	畜産 業手 数料	家畜防 疫手数 料	0	0	0	0	0	0	0	1,917,800	1,917,800	0	0	
		家畜保 健衛生 所手数 料	0	0	0	0	0	0	0	92,460	92,460	0	0	
	計(節)			0	0	0	0	0	0	2,010,260	2,010,260	0	0	
目計			0	0	0	0	0	0	0	2,010,260	2,010,260	0	0	
合計			0	0	0	0	0	0	0	2,010,260	2,010,260	0	0	

10 未収金回収促進のための取組状況調べ
該当無し

11 不納欠損額調べ
該当無し

1.2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
 (1) 負担金

(平成30年1月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
								文書ID
新規以外のもの						13,000		
目計						13,000		
合計						13,000		

(2) 補助金
 該当無し

(3) 交付金
 該当無し

(4) 委託料

(平成30年 1月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年 月 日 履 行 検 査 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
				変更契約 (最終)	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間	契 約 形 態					
委託料	単県	空調設備点検	(株) モチダ	216,000	(29.5.29) 194,400	29.5.29 ~7.14	29.5.22 (免除)	29.6.26	精	29.8.31	194,400	文書ID 17-00118770 見積額が安い
					()	~	随	29.6.26				
委託料	単県	汚泥処理・処分	(株) 三光	194,400	(29.9.1) 194,400	29.9.1 ~30.3.9	29.8.28 (免除)	29.12.7	精	30.1.24	129,600	文書ID 17-00233992 他に優良業者 がない
					()	~	随					
委託料	単県	エライザ装置 保守点検	(株) 友田大 洋堂	192,240	(30.1.25) 192,240	30.1.25 ~ 3.23	30.1.17 (免除)		精			文書ID 17-00240821 見積額が安い
					()	~	随					
委託料	単県	汚水処理槽清 掃点検	みつわ環境開 発 (株)	151,200	(29.6.19) 151,200	29.6.19 ~ 9.15	29.6.15 (免除)	29.8.8	精	29.8.28	151,200	文書ID 17-00115111 見積額が安い
					()	~	随	29.8.8				
委託料	単県	汚泥収集・運 搬	みつわ環境開 発 (株)	145,800	(29.9.13) 145,800	29.9.13 ~30.3.9	29.9.11 (免除)	29.11.30	精	29.12.11	135,800	文書ID 17-00200925 見積額が安い
							随	29.11.30				
上記の外、契約 額が250万円未満 のもの											130,420	
目 計											741,420	
合 計											741,420	

13 工事請負費調べ
該当無し

14 財産に関する調べ
(1) 公有財産
ア 土地

(平成30年 1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	西部家畜保健衛生所	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-16	727.00	0	増加	H				H	727.00	0	溝口町(現伯耆町)から無償譲渡	
					減少	H								
	"	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17	2,440.42	14,026,275	増加	H				H	2,440.42	14,026,275		
					減少	H								
	"	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-18	0.16	920	増加	H				H	0.16	920		井戸用地の内、県持分19.1%
					減少	H								
計			3,167.58	14,027,195						3,167.58	14,027,195			
普通財産	西部家畜保健衛生所 (貸付)	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-17 の一部	10.58	60,808	増加	H				H	10.58	60,808	水道供給施設用地貸付(伯耆町)	
					減少	H								
計			10.58	60,808						10.58	60,808			
合計			3,178.16	14,088,003						3,178.16	14,088,003			

イ 建 物

(平成30年 1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	西部家畜保健衛生所庁舎	西伯郡伯耆町 金屋谷1540-1 6.17	640.10	262,045,058	増加	H					H	640.10	262,045,058	
					減少	H					H			
	解剖棟	〃	96.00		増加	H					H	96.00		
					減少	H					H			
	倉庫	〃	34.00		増加	H					H	34.00		
					減少	H					H			
	車庫	〃	90.00		増加	H					H	90.00		
					減少	H					H			
計			860.10	262,045,058						860.10	262,045,058			
普通財産	該当なし			増加	H					H				
				減少	H					H				
合計			860.10	262,045,058							860.10	262,045,058		

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年 1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受 入 額	払 出 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 52,896	円 41,432	円 29,243	円 65,085	
収入印紙					
収入証紙		4,500	4,500	0	安全運転 管理者等 法定講習
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	52,896	45,932	33,743	65,085	

イ タクシーチケットの受払状況
該当無し

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成29年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給配電線支持物設置	西伯郡伯耆町金屋谷1540-16~17	電柱1本 (共架柱) 支線3条 支線柱3本	H28.2.25	H12.8.3	H28.4.1~ H33.3.31	丹繰・年額 10,500	10,500	米子市加茂町2丁目51番地 中国電力株式会社米子営業所 所長	
	水道供給用 水道管敷設 配電装置設置	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	7.075㎡ 電柱1本 支線1本	H27.3.2	H17.3.24	H27.4.1~ H32.3.31	丹繰・年額 0	0	西伯郡伯耆町吉長37番地 3 伯耆町長	減免 文書ID 14-0016 0885
計								10,500		
普通財産	水道供給施設用地	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17の一部	10.58㎡	H27.3.2	H17.4.14	H27.4.1~ H32.3.31	丹繰・年額 957	957	西伯郡伯耆町吉長37番地 3 伯耆町長	
計								957		
合計								11,457		

イ 建 物

(平成30年 1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫設置場所	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	1.0 m ²	H29.2.13	H22.2.25	H29.4.1~ H30.3.31	月額・年額 4,980	4,980	鳥取市末広温泉町723番地 (公社)鳥取県畜産推進機構 会長	文書ID 16-0015 1527
計								4,980		
普通財産	該当なし						月額・年額	0		
計								0		
合計								4,980		

(2) 物 品
該当無し

16 借受不動産明細調べ
該当無し

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
(1) 職員住宅
該当無し

(2) 職員駐車場
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	12.5	0
普通財産	該当無し		

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡伯耆町金屋谷1540-17	12.5	0
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免					
4月	11 人	1 人	1 人	人	人	10 人	10 人	0 円	公共交通機関がない 減免率 100%	/	/
5月	10					10	10	0			
6月	10					10	10	0			
7月	10					10	10	0			
8月	10			1	1	11	11	0			
9月	11					11	11	0			
10月	11					11	11	0			
11月	11					11	11	0			
12月	11					11	11	0			
1月	11					11	11	0			
2月											
3月											
合計											

18 寄附物件の受納状況調べ

該当無し

19 備品の処分状況調べ

(平成30年 1月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格 円	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分				備 考
							売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額 ・ 処 分 費 用 円	
滅菌装置 (サクラ精機 EC-161)	1	H10.7.10	10	212,000	H29.1 2.26	使用不 応	棄却	使用不能	H30.1. 17		
電気恒温器 (平沢製作所 H6-C型TH-57)	1	S50.4.24	15	614,250	H29.1 2.26	更新に より不 用	棄却	40年以上前 の器械であ り使用が見 込めない	H30.1. 17		
合 計											

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当無し

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
29年8月9日 ～ 29年8月30日	・有 (無)		

21 事業別予算執行状況調べ

目名	家畜保健衛生費	(平成30年 1月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜衛生対策事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜伝染病予防事業	(事業概要) 「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	(事業概要) 家畜保健衛生所の円滑な運営を図った。	

2.2 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成28年2月1日		前年同期		備考(増減)	
乳用牛	59戸	3,365頭	61戸	3,200頭	△2戸	165頭
肉用牛	143戸	2,911頭	146戸	3,106頭	△3戸	△195頭
豚	8戸	49,433頭	9戸	47,605頭	△1戸	1,828頭
採卵鶏	12戸	203,707羽	12戸	203,638羽	0戸	69羽
ブロイラー	29戸	1,448,298羽	28戸	1,449,932羽	1戸	△1,634羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成30年1月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考	
家畜保健衛生所運営事業	種畜検査	検査	5月～11月	管内一円	—	豚 28頭 牛 0頭		
	病性鑑定	検査	4月～3月	〃	—	1,593頭・羽	乳用牛984頭、肉用牛318頭、豚63頭、馬15頭、その他43頭、鶏159羽、ハチ11羽	
家畜衛生対策事業	畜産物の安全性確保対策	収去検査	11月	〃	1戸1検体	1戸1検体	飼料中のカビ毒検査	
	家畜衛生関連情報整備対策		4月～3月	〃	12回	12回		
	動物用医薬品危機管理対策	収去検査	7月			2品目	2品目	
		立入検査	4月～3月			全店64店舗	全店61店舗	(実施予定)
	牛ウイルス性下痢・粘膜病対策	検査指導	4月～3月	〃	県下で牛200頭	牛74頭	県外導入牛	
	乳房炎対策	検査指導	4月～3月	〃	60検体×2回	104検体(52×2回)	黄色ブドウ球菌 大腸菌	
	幼畜疾病対策	検査指導	4月～3月	〃	牛5戸 豚5戸	牛5戸 豚5戸	子牛、子豚の下痢症及び肺炎の低減	
	白血病浄化対策	検査指導	4月～3月	〃	牛1戸～	牛3戸	和牛生産農場	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病 予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	800頭	726頭	告示検査726頭
	結核病	"	"	"	590頭	539頭	告示検査539頭
	ヨネ病	"	"	"	2,195頭	1,880頭	告示検査1,776頭
	ヨネ病（清浄性）	"	"	"	50頭	0頭	
	牛伝染性疾病	"	"	"	6,500頭	6,543頭	
	豚伝染性疾病	"	"	"	49,000頭	50,108頭	
	鶏伝染性疾病	"	"	"	164,200羽	150,705羽	
	馬伝染性疾病	"	"	"	210頭	155頭	
	羊伝染性疾病	"	"	"	160頭	229頭	
	ひな白痢	"	"	"	3,500羽	2,500羽	告示検査2,500羽
	マイコプラズマ病	"	"	"	3,500羽	2,500羽	告示検査2,500羽
	ニューカッスル病（種鶏）	"	"	"	3,500羽	2,500羽	告示検査2,500羽
	ニューカッスル病（その他）	"	"	"	1,500羽	1,360羽	
	腐蛆病	"	"	"	160群	199群	告示検査199群
	牛流行熱・バクテミア ネ病等	"	6月～11月	"	96頭	90頭	
	オースキ病	"	4月～3月	"	546頭	684頭	
	豚繁殖・呼吸器障害 症候群	"	"	"	99頭	79頭	
	豚コレラ	"	"	"	120頭	28頭	
	高病原性鳥インフルエンザ	"	"	"	550羽	575羽	告示検査575羽
	牛白血病	"	"	"	1,000頭	596頭	
牛パルジ症	"	"	"	100頭	161頭		
豚パルジ症	"	"	"	100頭	108頭		

鶏伝染性気管支炎	〃	〃	〃	270羽	330羽	
鶏伝染性ファブリカス嚢病	〃	〃	〃	270羽	330羽	
鶏カモバシ症	〃	〃	〃	42羽	204羽	
牛ウイルス性下痢・粘膜炎	〃	〃	〃	597検体	535検体	告示検査404検体

※告示検査（家畜伝染病予防法第5条）以外は同法第51条による立入検査及び病性鑑定等。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

2) 監査委員事務局に対する要望等

監査調書の様式には、複雑な書式設定はできるだけ避けてほしい。
 特に行ピッチの設定や斜め罫線は、修正（行の挿入、削除等）の際ズレると修正が難しい場合がある。